

第117回大江戸探索会（浅草周辺歴史散歩）

7月6日(日)13:30、雷門交番前の浅草文化観光センターに集合、15人が参加した。今回は「今は亡き高橋洋明先生を偲ぶ浅草周辺歴史散歩」「べらぼう江戸大河ドラマ館見学会・浅草寺～日本堤を巡る歴史散歩」をテーマに定め、洋明先生と親交のあった寺尾隆雄先生にご案内頂いた。江戸時代の時代背景や実際の史実と大河ドラマとして描かれる葛屋重三郎と登場人物の脚色部分などに焦点をあて、詳しく説明頂いた。

まずは雷門をくぐり、仲見世通りを進んだ。お決まりのフォトスポットは沢山の外国人観光客で混雑して沿道のお店も繁盛していた。要所々々で先生の解説を頂きながら浅草寺まで進んだが着くころには皆、バラバラに、浅草寺にてもう一度集合し、隣の浅草神社にお参り。その後、お目当てのべらぼう江戸大河ドラマ館に移動した。

NHK大河ドラマ「べらぼう～葛屋栄華乃夢噺～」では江戸時代中期の田沼時代から寛政以降を中心に版元の喜多川歌麿や東洲斎写楽などを見出した江戸のメディア王の葛屋重三郎の波乱万丈な生涯が描かれ、登場人物の意匠や小道具などが展示されている。葛重の出版ビジネス成功の背景には田沼意次の財政改革や重商主義政策での経済発展があり、その後の失脚と質素儉約を旨とする松平定信の時代では出版統制や文化人の処罰などがあり、葛重も処罰された。

大河ドラマ館は涼しく、予定していた待乳山聖天、日本堤跡、本龍寺、今戸神社に関する資料をここで解説頂き、今回はこれにて解散とした。

外はまだまだ暑く、いつもの飲み屋まで移動し、恒例の反省会にて喉を潤し、解散した。

（飛田悦男・記）



浅草寺境内



浅草神社



江東区民会館入口とスカイツリー



江東区民会館9F べらぼう江戸大河ドラマ館入口